

## (素案)

### 新病院の診療科構成について

新病院の診療科構成については現状を基本とし、外来診療の受診状況、民間クリニック等の周辺医療機関との連携状況など医療環境の変化や医師の確保見込みなどを踏まえながら随時見直しを行う。

診療科目 12 診療科

内科、外科、整形外科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、放射線科  
耳鼻咽喉科、産婦人科、精神科、リハビリテーション科

専門外来

乳腺外来、循環器内科、腫瘍外来、呼吸器外来、小児科特殊外来  
アレルギー舌下免疫療法外来、補聴器外来、コンタクト外来

糖尿病外来(新規)

#### ○ 新病院検討委員会及びアンケートで意見のあった診療科等について

診療科の設定については、播磨姫路圏域（西播磨地域）における医療機関の役割分担、地域のニーズや将来にわたる医療需要、さらには地域の医療提供体制とのバランスを考慮し、可能な領域で対応していく。

##### 1 脳神経外科及び心臓血管外科

高度急性期医療に対応する常勤医師の確保は極めて難しいことなどから、播磨姫路圏域（西播磨地域）における役割分担の基、常勤医師、医療設備の整った姫路地域の医療機関との連携により対応する。

##### 2 歯科口腔外科

常勤医師の確保は極めて難しいことなどから、播磨姫路圏域（西播磨地域）における役割分担の基、常勤医師、医療設備の整った姫路地域の医療機関との連携により対応する。

##### 3 総合診療科

現在、内科がその役割を担っているが、当面は引き続き内科で対応することとし、医師の確保見込み等の状況を踏まえ、総合診療科としての標榜を検討する。

##### 4 健診部門

現在の人間ドック・健康診断の役割を引き続き担うこととする。健診診察室は独立で整備し、検査室等は一般患者と共用とするが、一般患者とはなるべく交錯しないよう院内のゾーニングを検討する。